令和 8 年 11 月

令和 7 年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

| | |
|---|---|
| 園　名 | 社会福祉法人ねりま共育ちの会<br>どんぐり山保育園 |
| 所在地 | 東京都練馬区春日町 4-1-13 |

**１．活動のテーマ**

**【テーマ】**

畑から食卓へ ～育てる・知る・味わう～／　3 歳「そら組」

**【実施時期】**

2025 年 4 月 – 10 月

**【テーマの設定理由】**

通年を通して、畑での作物の栽培や収穫、調理保育などを通じて、子どもたちが食材に触れ、育ちや変化に関心を持ちながら、食への興味を広げていく。

**２．活動スケジュール**

午前中から午後にかけて活動

**３．活動のために準備した素材や道具、環境の設定**

・栽培する作物： ブロッコリー、パプリカ、きゅうり、カブ、ホウレン草、人参、アサガオなどの種や苗
・栽培に使う道具： 水やり用のジョウロ、種まきに必要な道具
・栽培環境： 子どもたちが作物を選び、種まきや水やりを継続して行える環境
・調理に使う素材・道具： 収穫したきゅうり、塩昆布などの食材、調理に必要な道具

**４．探究活動の実績**

**【活動の内容】**

水橋園芸を訪れ、子どもたちと相談しながら栽培する作物を選び、種まきを行った。ブロッコリー、パプリカ、きゅうり、アサガオなどの栽培を始め、先生の植え方をよく見ながら、子どもたちも自分の手で種や苗を植えた。水やりでは、ジョウロを持って「ぼくがやる！」と意欲的に参加し、友だちと交代しながら作物に水をあげた。

栽培を続ける中で、きゅうりを 2 本収穫した。子どもたちは実を手に取り、「とげとげしてないね」と以前収穫したものとの違いに気づいていた。収穫したきゅうりは「たたききゅうりの塩昆布和え」にして調理。きゅうりを振ったり、もんだりする中で色が変わる様

子に驚きながら、できあがった料理を味わい、おかわりする姿も見られた。それ以外でもきゅうりの収穫、調理を何回か行うことができた。
また、そら組では、子どもたちと話し合いながらカブ、ホウレン草、人参の種を選んだ。以前は乗り気でなかった大根に興味を示すなど、作物への関心にも変化が見られた。種まきでは野菜ごとにグループに分かれ、先生の手本を見ながら、種をまく場所や数を意識して取り組んだ。栽培や調理の体験を通して、作物の成長や変化に気づき、食への興味を広げている。

**【活動の様子】**



**【振り返り】**

子どもと一緒に畑活動や調理活動を行ってきた。大人の姿を見て真似て、『自分も』『一緒にやりたい』といった姿を手掛かりに、全体に広がっていった。
好奇心旺盛な子ども達で、時に作物よりも虫探しや虫発見に興味関心が大きくなり、いろいろな発見を楽しみながら行えたと振り返る。
自分達で育て、調理に携わった食べ物は格別であり、またやりたいという気持ちが大きく膨らんだと感じている。